



発行日：令和3年9月29日(水)  
発行者：NPO法人北見文化連盟  
理事長 平野 温美  
事務局：北海道北見市大通西2-1  
まちきた大通ビル5階  
TEL・FAX (0157) 22-0099

会報 第11号

文連事務所

NPO法人 北見文化連盟 理事長 平野 温美



文連の事務所が、二十年あまりを過ごした場所を後に

して、まちきた大通りビル(パラボ)五階へ移転しました。

文連事務所の変遷を述べてみましょう。今回は五か所めです。

まず、昭和五十一年に旧労働基準監督署の建物(三楽町)が文化施設となり、文連に管理運営が任せられ、練習所兼事務所となりました。次に、昭和五十三年から平成十年は旧青年研修所(四条東四丁目)が文化会館となり、同じく運営が任せられました。使用料が安く実に多くの人が利用しました。

その間、長年にわたり文連はホール建設運動をします。署名や募金活動、提言書提出などを進め、遂に平成十年に「北見芸術文化ホール」がオープン。文化会館は

取り壊しをするからと閉鎖。文連事務所は新施設に移すという平成七年の市との約束がありました。それが突然に破棄されます。やむなく平成十年、旧西小学校に期限付きで移転します。この間が文連の最も苦しい時代でした。

四回目が平成十一年十二月から

で、旧志賀商店倉庫です。低い家賃でしたが、冬は大変寒く、事務担当の方々にはまことに苦勞をかけたました。

新事務所の家賃は高くなりますが、交通の便もよく、同じ階に色々な事務所があり活気を感じます。会員の皆様が事務所に顔を出され、催事の情報交換や、これからの文連活動、北見の文化について語る開かれた場になればと願います。

- 理事長 平野 温美 (北見文学会)
- 副理事長 大場 稔康 (北見写真協会)
- 副理事長 今本 一成 (北見文学会)
- 副理事長 高橋千恵美 (北見市華道連盟)
- 専務理事 本見 研介 (北見合唱連盟)
- 理事 角田 優 (北見市民謡協会)
- 理事 田尾勢津子 (踊翠流剣詩舞鶴双会)
- 理事 金山真由美 (北見書道連盟)
- 理事 松本美年子 (オホーツク岳風会)
- 理事 大泉 梅代 (北見市華道連盟)
- 理事 堀 隆二 (北見市民謡協会)
- 監事 川原真佐子 (北見市華道連盟)
- 監事 渡辺 清治 (オホーツク岳風会)

# いけばな池坊巡回講座

北見市華道連盟  
華道家元池坊北見支部  
榊川 久美子

華道家元池坊巡回講座は、池坊中央研修学院が、毎年全国各地で開催する講座です。

池坊華道を学ぶ方々、まだ華道を学んでいない方も受講できます。

池坊中央研修学院の佐藤裕子研究員を講師に、池坊の哲学、精神や心、技術を学びました。

今回のテーマは「花はじまりの時く花をいけよう」。



暮らしに寄り添ういけばな、自分でいけた花を楽しむヒントやアイデアなど説明。

花器を使った大きな作品や、伝統的な型による「生花正風体」、既成の型を持たない「生花新風体」など、解説を交えたデモンストラクションで最新技術を学びました。

## Ⅱ 文芸北見発刊実行委員会に 北海道地域文化選奨特別賞

文芸北見発刊実行委員会は、令和二年度の、北海道地域文化選奨特別賞を受賞した。

賞状にはこう記されている。

皆様は長年にわたり地域住民の文芸に親しむ機会の創出や子どもたちの郷土愛を育む活動を続けてこられました  
これからも住民とともに文芸活動を続けられ地域の魅力を広く発信されることを期待します

この賞は、地域に根ざした活動に熱意をもって取り組み、地域文化の振興に貢献した団体、個人に贈られる。

『文芸北見』はオホーツク全域から原稿を公募する年一回の地域文芸誌であり、昭和四六（197

1）年以降半世紀にわたって発行しており、今年七月、第五一号を刊行した。

冬、流水原となるオホーツク海に面した特有の風土に根ざす人々の暮らしや、郷土の歴史を題材とした作品を多く掲載している。

また、北見市中央公民館と北見俳句連盟が主催する、小中学生俳句コンクールの入選作品をそれぞれ五十句ずつ掲載し、この地を古里として育つ子どもたちに、郷土を愛し伝統文化に親しむ態度の育成に取り組んでいる。



（副賞の時計を手にする藤川編集長）



術が必要であるかを考えていきます。と思います。

# 岡本卓徳ヴァイオリン コンサートを終えて



～なぜ芸術が必要であるか～

岡本 卓徳

コロナ禍の中で、コンサートを開催し、無事終わらせられたことは大変幸せなことでした。また、スタッフの皆様と、来てくださったお客様に感謝申し上げます。と思います。

私たちは日常と非日常の間を彷徨いながら生きています。しかし、両者の均等が保たれなくなるとは、私たちがどうすれば良いかわからなくなる時もあるでしょう。そのような時に、日常、非日常から脱出して、空気の入れ替えを可能にさせてくれるものが「芸術」であると思います。例えば、演奏会に行くことは非日常ですが、その音楽の中から日常的な「何か」を感じられることもあります。逆に毎日聴いている曲や歌の中にも、日によっては異なる聴こえ方がするというものもあります。このように、新しいものや刺激を絶えず求める人間にとって、芸術はとても重要な中和剤であると思います。



よく芸術は「不要不急」であると言われるがちでもありますが、私たちからあらゆる「不要不急」なものを取り除いたら、何が残っているのでしょうか。

## 文化団体・正会員・賛助会員を募集しています



北見文化連盟は、北見地方の個人や文化団体の、相互の交流、連絡協議、文化活動などを通して、オホーツク文化圏の確立・発展に寄与し、次世代を担う子どもたちの文化土壌を豊かにすることを目的とした団体です。

市民大学講座、文化交流会、総合芸術祭、北見文化賞受賞式、林白言文化賞授賞式などを開催しています。また、加盟団体の活動支援にも力を注いでいます。

目的にご賛同いただける、文化団体、正会員、賛助会員を募集しています。申し込み方法や概要については、文化連盟事務所までご連絡下さい。

(0157-22-0099)

## 10月以降の催しもの



◆ 文芸北見賞受賞式  
【日時】 10月10日(日)  
【会場】 北見市民会館1号室  
13時開始

◆ 第74回きたみ市民芸術祭参加  
第61回北見合唱祭  
【会場】 北見市民会館 大ホール  
【日時】 10月17日(日) 14時開演  
【チケット】 700円  
(小学生以下無料)

◆ 第74回きたみ市民芸術祭  
第40回総合芸術祭(道民芸術祭を兼ねる)  
【会場】 北網圏北見文化センター  
【美術展・日時】

10月10日(日)～16日(土)  
9時30分～16時30分  
【書道・写真展・日時】  
10月19日(火)～24日(日)  
9時30分～16時30分  
※最終日は15時まで

【会場】 北見市民会館  
【日時】 11月3日(水・祝)  
舞台部門/大ホール12時開場  
13時開演(入場料800円)



発行日：令和3年9月29日(水)  
 発行者：NPO法人北見文化連盟  
 理事長 平野 温美  
 事務局：北海道北見市大通西2-1  
 まちきた大通ビル5階  
 TEL・FAX (0157) 22-0099

## 文連事務所

NPO法人 北見文化連盟 理事長 平野 温美



文連の事務所が、二十年あまりを過ごした場所を後に

して、まちきた大通りビル(パラボ)五階へ移転しました。

文連事務所の変遷を述べてみましょう。今回は五か所めです。

まず、昭和五十一年に旧労働基準監督署の建物(三楽町)が文化施設となり、文連に管理運営が任せられ、練習所兼事務所となりました。次に、昭和五十三年から平成十年は旧青年研修所(四条東四丁目)が文化会館となり、同じく運営が任せられました。使用料が安く実に多くの人が利用しました。

その間、長年にわたり文連はホール建設運動をします。署名や募金活動、提言書提出などを進め、遂に平成十年に「北見芸術文化ホール」がオープン。文化会館は

取り壊しをするからと閉鎖。文連事務所は新施設に移すという平成七年の市との約束がありました。それが突然に破棄されます。やむなく平成十年、旧西小学校に期限付きで移転します。この間が文連の最も苦しい時代でした。

四回目が平成十一年十二月から

で、旧志賀商店倉庫です。低家賃でしたが、冬は大変寒く、事務担当の方々にはまことに苦勞をかけました。

新事務所の家賃は高くなりますが、交通の便もよく、同じ階に色々な事務所があり活気を感じます。会員の皆様が事務所に顔を出され、催事の情報交換や、これからの文連活動、北見の文化について語る開かれた場になればと願います。

- 理事長 平野 温美 (北見文学会)
- 副理事長 大場 稔康 (北見写真協会)
- 副理事長 今本 一成 (北見文学会)
- 副理事長 高橋千恵美 (北見市華道連盟)
- 専務理事 本見 研介 (北見合唱連盟)
- 理事 角田 優 (北見市民謡協会)
- 理事 田尾勢津子 (踊翠流剣詩舞鶴双会)
- 理事 金山真由美 (北見書道連盟)
- 理事 松本美年子 (オホーツク岳風会)
- 理事 大泉 梅代 (北見市華道連盟)
- 理事 堀 隆二 (北見市民謡協会)
- 監事 川原真佐子 (北見市華道連盟)
- 監事 渡辺 清治 (オホーツク岳風会)